

日五十二月一



刊日
定価 一部全紙 一月五拾五銭 郵税五銭
廣告料 五號十二字 一行五拾五銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞株式会社

他力安心の極意

眞繼 雲山

小乗佛教は、慾求を煩惱なりとして否定する、戒律によつてその煩惱を一つ一つに削り取つてゆかうといふのである。大乘佛教は、そこに眞理に合流する人間し道を見つけて、慾求を肯定する、さうして人道即佛道佛道即人道なりとした、自覺々他覺行圓滿を以て人間の到り得る理想郷なりとしたその理想の完成を成佛なりとしたのである。佛教ではその究竟の理想境を涅槃といふ、涅槃とは梵語、慾求を絶てば死ぬるの外なきゆゑ小乗では涅槃を譯して灰身滅知とする、大乘では最高圓融の理想郷を涅槃とする、煩惱はわれわれの現實の姿であり、それに對して涅槃は理想の彼岸である。佛教とは現實より理想に到り、煩惱を謝してねはんに入らんとする教へに外ならぬ。佛教に自力門と他力門とがある、自力門は自ら煩惱を断じてねはんに到らんとするのであるから、その修行としては慈悲を要し、忍辱を要し、持戒を要し、諸他の萬行を要す、餘財あらば施さねばならず、叩かされても腹立つことを得ず、飲食坐臥戒律を守らねばならぬが、それは聖者にあらざるは能はぬゆゑ、これを聖道門といひ、人間として至難であるゆゑ、難行道といふ。煩惱を断じてねはんを得るのが自力門である、煩惱を地體とする凡夫として

らぬが、それは聖者にあらざるは能はぬゆゑ、これを聖道門といひ、人間として至難であるゆゑ、難行道といふ。煩惱を断じてねはんを得るのが自力門である、煩惱を地體とする凡夫として

ノート

乾海苔は弱い火で長く焼くと、ムラが出てきて、香氣が失せるので、なるべく烈火で手早く焼くやうにするのであるが、ぢかに火の上にかざすと焦げ易いから、此の場合には火の上に金屬製の餅網を一枚載せてその上で海苔を押しつけるやうにしてあぶると、ムラができず焦げもせず、奇麗に焼けます。

て断煩惱は到底、不可能であるとしても見切りをつけたいのが他力門である、それが二明日の献立二

【朝】みそ汁—里芋 笹がきごぼろ

【晝】みそ煮—豚肉 ごぼろ 摘みこんにやく せん生妻

【晚】ふくめ煮—切乾 ごぼろ 油揚げ

は煩惱を断せずしてねはんを得るの道を開いたのである他力なればとて佛の力で

煩惱を断つて貰ふといふにはあらず、彌陀の他力に救はれ、淨土に到りて後、煩惱のづから断たれて佛になるゆゑ、これを淨土門といふ、この世ではどこ、くまでも煩惱と道づれである煩惱とは讀んで字の如く煩ひであり惱みである、煩ひ惱みつゝこの世で、どうして安心が得られるかといふに、煩惱を断ちせぬが、煩惱と離れて歩むのである例せば怒るのは煩惱の所爲であるも、その怒れる煩惱を、ぼんぼんとして眺めることが出来たとき、それはぼんぼんのうをはなれた別の自分が本體となつてゐるので、そのぼんぼんのうを客観し得る自己に如來はお宿り下されてゐる、のであるやみくも自分が丸々カッとなることは苦しいが、その苦しいぼんぼんのうを客観し得るなら、そこに、ゆるやかな、抜け出た自分の世界があり得るぼんぼんのうを拂ふにはあらずぼんぼんのうのなかにお宿り下された如來のふところの自分があるのである。如來を迎へ苦患から抜ける工夫としては、彌陀の慈悲を憶念するといふ道もある、念佛といふ方式もある、勤行といふ手段もある。古來の妙好人が、叩かれ、罵られ、苦しめられつゝも有り難い

と喜んだのは、苦しいぼんぼんのうを客観する別の自分を見つけて、如來の懷ろにあることを喜んだ時の心もちであつたであらう。自力門は断ぼんぼんのう得ねはんであり、他力門は不断ぼんぼんのう得ねはんである、つまりぼんぼんのうを断ち切ることは出来ぬがぼんぼんのうから離れることなら、いつでも出来るそこに、如何なる逆境苦患に落つるとも、歡喜し感謝し得る道がある、これが他

力門安心の極意である。
常磐歌壇
仲井春美
なつかしき人に別れて幾月日 日には、笑みのすくなになりぬ
芝沼美重
病みこやる午後の日長に父上の口笛聞きて親しかりけり

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
マ ス
ハカリ
寒暖計
体溫器
●秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番

例品付大賣出し

平素の御引立に酬ゆる爲め奉仕品を豊富に取揃へ年一回の御禮大提供!!
舊正月二日三日の二日間
赤かや洋服店

朝一開店

舊正月二日三日の二日間
景氣變動期に一大光明を與ふる!!!
特價寶探し大賣出し
一圓以上御買上毎に寶探し一本(景品名記載)差上げます
何卒店內を御自由に御探し下さい外に先様六時迄御來店の方に二重景品を進呈致します
平驛前 **ダイヤ堂** 鈴木時計店

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

渡部外科

全外科 醫學博士 渡部
平町田町大通り(電話二七七番)
(入院應需)

四勇士の靈前に

凱旋の三大尉禮拜

▽...壯烈な戦死状況を講演

日支事變に奮戦名譽の戦死を遂げた石城郡下の江名町中田七造、飯野村山崎一好、上遠野村大久保幸太郎、山田村安島喜一氏等四勇士の爲め今回凱旋した若松廿九聯隊の鈴木忠、矢野光二、遠藤重助の三大尉來郡夫々戦死者の墓参をなし四勇士の戦死状況に就き講演會を催す事になつたが日割は左の如くである

一月廿五日、江名町(鈴木大尉)
同 飯野村(矢野大尉)
同 上遠野村(同)
一月廿六日、植田町(鈴木大尉)
一月廿七日、四倉町(同)
二月十一日、山田村(遠藤大尉)

道路

改修陳情

匡救事業にと

既報平町役場では第二次匡救事業として豫て縣に申請中であつた工費一萬五千圓の大町より第三小學校裏を経て鎌田町通する延長七百三十米の道路改修工事に就いては新川町の發展に重要な工事であると本日新川町

區長小次郎外武田町議及び地主側代表として松崎長三郎渡邊又八の諸氏と共に町役場に青沼町長を訪問し同工事の速進に就いて陳情した一方昨日は長橋町より

肥料購入減

手も足も出す

見送りの状況

石城郡内の肥料購入は例年十二月から一月にかけて最盛期を現出しこの期間において全消費額の六割前後の取引が行はれ來つたが本年はインフレ

景氣の對外爲替の大暴落から各種肥料の價格はうなぎ上りの大暴騰を告げてゐる爲め現在の價格では郡下農民は全く手も足も出ぬがたちとなり一般には見送りの状況で現在までの取引は僅に二割内外に過ぎず本年の消費見込み額は今後の米價に大なる關係を有し農民は何れも今後の

米價の推移に神経を

とがらしてゐるが大體に

請負業者が

早くも手を廻す

鮫川江復舊工事

石城郡鮫川疏水組合の復舊工事は元縣議古川傳一氏等の陳情効を奏して認可され

社告

舊曆正月に付き從業員慰安の爲め廿六七の兩日休刊仕候間御諒承願上候
一月廿五日
常磐毎日新聞社

環境整理

教務主任協議

既報石城郡第三區小學校教務主任會は昨日午前十時より第一小學校に於て開れたが出席者は十六名にて役員選舉の結果、會長平第一校長會我眞治、幹事平第一坂内伊貞、平第二金澤邦男、赤井第二川角英一の諸氏當選就任し協議題である、兒童教養上環境整理の實際案に就いて討議したが纏らず左の如く委員を擧げて研究する事になつた因に委員會月五日には來る二開くと内郷菅野清四郎、平第一坂内伊貞、平第二金澤邦男、赤井第二川角英一、小川黒木信一

江名濱公民學校が

海産食糧品を製造

機械を購入して本格的に

石城郡江名町實業公民學校では豫てより海草及び魚類等の加工食糧品製造を研究し一二の製品を完成したが未だ市場に賣出す迄大量製造する事が出来ないもので同校では此程同町漁業組合と

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町
電話五〇七番

平町田町通電話六五六番

金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します
平町二丁目(三幸堂跡)

根本時計店

電話六〇七番

破魔弓と羽子板を

陳列致しました

御子さまの御祝から

三十二年の不景氣を破り?
三十三年の景氣を羽根上ぐる?
○是非御子様の御祝に致しませう

スガノヤ提灯店

平四丁目(電話九五番)

盗んだピストルで 少年ギャング

二名共謀で平町を荒す 昨日平署に捕る

平警察署では最近盛に市内を荒し廻る小嵐泥犯人を内偵中の處平町八幡小路千代長男加治五郎(八)假名及び胡摩澤梅吉四男河津政(九)假名の兩名の仕業と睨み昨廿四日午後二時頃夫々自宅を取押へ平署に引致取調ると兩名は昨年十月頃一丁目鐵砲店渡邊貫二方の店頭より競技用ピストル及び六連

發ピストルを窃取しギャング張りに常に懐中して町内を徘徊し市内商店學校より靴、時計、萬年筆、オーバ等十數件の窃盜を行つた旨自白したが昨年平商業學校に忍入り備付のタイブライターを窃取したのも兩名の仕業と判明した餘罪多數の見込み

一日市は 相當に賑ふ?

舊暮れは一向閑散 高い仕入品を投資

舊歲末中の平市内商況を聞くに値上り見越しの

商品類は各店共倉庫にうなつて居るが消費者側に未だ金が廻らぬ爲め手持ち品は一向に捌けず會つて見ない閑散振りで某商店の如きは折角仕込んで舊暮れ目當の

て例年よりは幾分金廻りがよい筈であり殊に最近では金より物との觀が一般の常識になつて居る模様から見て初賣りの二日市は割合に賑ひを見るであらうと觀測される

數の子を現金欲しさに 投資を始める仕末

「インフレーション未だ」觀があるが農村方面は藪高く米價高と共に匡救事業等に依つ

若生中佐 今晚歓迎會

平町出身若松二十九聯隊歩兵中佐若生清氏は明日より二日間警中及び平商の軍事教練査閲の爲め本日平着六

可憐な小女達が 凱旋兵を歓迎

學藝會を開いて 書食の御馳走を

平第二小學校にては来る二十八日午前十時より同校少女赤十字團及び自治會主催の下に在町凱旋兵二十三名を招待し凱旋兵歓迎學藝會を開催する事になつたが當日は校長の歓迎の辭に始まり勇士の實戰談や生徒の演技あり生徒等の家事實習に依つて出來た御馳走を饗應すると

平驛から 無賃來車

取手で發見

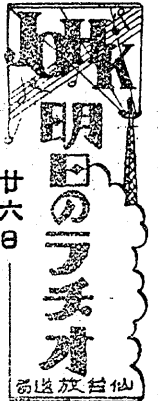
平町田町居住里山文藏長男政男(三)は去る廿三日午前五時平驛發上り列車に無賃乗車して同日午後三時茨城縣取手驛で車掌に發見されたが多少精神に異狀あるの

女弟子が 何處へか駈落

石城郡内郷村字平太郎居住理髮業佐々木未治方雇人茨城縣新治郡土浦町生れ加藤アキ(九)は廿四日夜活動見物に行くど稱して豫てより馴染んで居た同村町田坑夫杉山時藏(六)と行衛を晦したので本日平署に雇主より捜査願があつた

警女才判見學 警城高等女學校にては本日來る

三月卒業する四年生を日野鈴木兩教諭引卒の下に才判所の公判を見學せしめた



今晚も明日も北東の風晴れたり曇りたり

今晚の部

- 後六、〇〇 お話「面白い科學遊び」川形寛
- 後七、三〇 講演「預金部の話」元尾光輝
- 後八、〇〇 大衆物語「幽霊橋太鼓(第二席)」

明日の部

- 後八、四〇 哥澤「初音」
- 其他哥澤芝勢以連中
- 後九、〇〇 長唄「操三番叟」杆屋佐喜二 佐助 佐造
- 後九、四〇 全國ニエース

平裁判たより

昨日懲役三年六ヶ月を言渡された放火犯人平町久保町二十七番地精米業遠藤忠治(三)は本日控訴權を放棄し服罪する事になつた

- △双葉郡木戸村大字前原九番地農關本真壽(三)が同村關本久八郎を火箸で毆打し罰金二十圓の略式命令に處せられ正式裁判を申立た傷害事件の公判は本日午前十時半より平區才判所に於て中島判事係り上田檢事立會大嶺辯護士列席の下に開廷證人取調の上檢事より略式通り罰金二十圓求刑されたが言渡しは来る三十一午前九時である

明日の部

- 前九、一〇 料理献立「豚肉の味噌煮」中村先三
- 前一〇、三〇 家庭講座「我が子の將來の職業」高峯博
- 後一〇、〇〇 浪花節 春日 亭清鶴
- 後二、〇〇 家庭大學講座「哲學とは何か」(一)東大 講師大島正徳

平職業紹介所報告

求人を求める方

- △女中 二十前後 尋卒 月五圓以上(平町某)
- △車挽 き三十前後 尋卒 月十五圓(平町某)
- △出前持 二十以下 尋卒 給料面談(平町某食堂)
- △魚屋雜夫 二十五才 尋卒 月八九圓(小名濱町某)

回職を求める方

- △商店雜役 三十六才 高卒 給料面談(平町某)
- △洋裁工 二十九才 尋卒 給料面談(北海道某)
- △菓子工見習 十八才 高卒 給料面談(平町某)
- △事務員 二十四才 高卒 給料面談(内郷村某)

上田外科醫院

平町 南町
電話二一九番

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派 の求めに應 じます

平看護婦會

平町南町
電話三〇七番

幕末剣術

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百五十一席 千葉周作 (5)

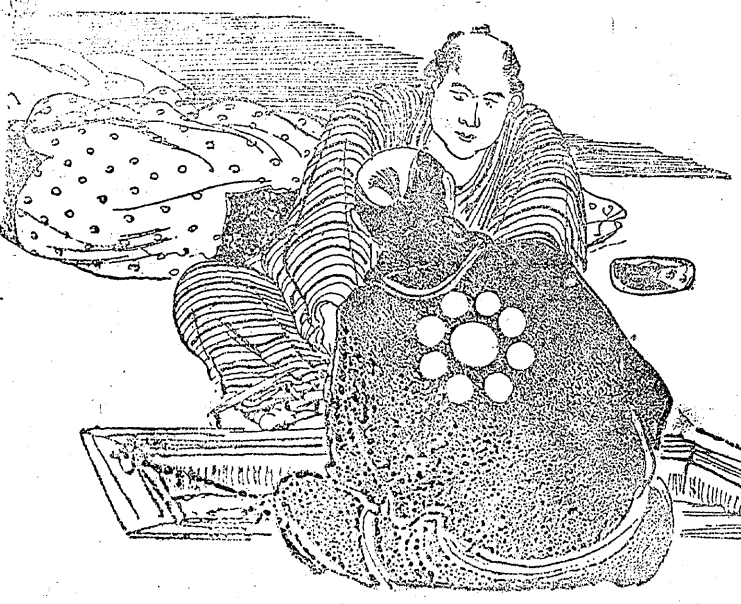
憎い奴はあの友藏

佐吉は馬藤を見てゐたが
佐『まだぬしは酔つてゐる
ナ、姐御が居酒屋の内儀に
なつたは氣の毒だと俺は思
つてゐるよ、ぬしはどうい
ふわけだ笑ふ』
藤『おかしから笑ふんだ
腹を立つ時に笑ひ顔を見せ
るものはなからう、なア兄
貴姐御の居る居酒屋でびつ
くりするほど變つたものを
見ただらう』

佐『ウン見た姐御が働いて
ゐるを見てあゝ氣の毒だと
思つたが、裏口から入つて
来た奴は神代の友藏だなれ
しく姐御に口をさいた
があれは夫婦だ』
藤『さうだよ、今は友藏を
亭主にして居酒屋の内儀さ
んだ』

佐『さうか憎い奴はあの友
藏、彼奴はぬしも知つてゐ
る通り盗みをして江戸へ送
られるばかりになつたのを
親分が八州の旦那方に金を
遣つて貰ひ下首の落るとこ
ろを助けて遣つたその後親
分子分の縁を切つて笹川の
身内から彼奴だけは除いた
が、それから二三年たつて
後改心したと云つて俺の許
へ尋ねて来たから親分に詫

をして又身内へ加へてやつ
たその恩を忘れて姐御をだ
まして下總を立退きこんな
所で居酒屋をしてゐるとは
犬にも劣つた畜生だ』
藤『しかしね兄貴、これは
友藏ばかり悪いわけではな
からうあね御もよくねえ、



思つたこともあるが悪い奴
だけに友藏は腕も出来てゐ
る、へたな事をすれば此方
が殺られてしまふ、そこで
又物を持たず二人を苦しめ
てやる、之は親分への忠義
の爲』
佐『どんな事をして苦しめ
る』
藤『折々出掛ては只酒を飲
む歸りには小使を借りる、
友藏がいやな顔をすれば生
意氣な事をいふナ、ためえ
は元盗人ぞやねえかといや
がらせて金を借りる、それ
で彼奴等を永く苦しめてや
らうと思つてゐる』

佐『成る程をいつもよから
徒寺へ押込んで坊主と大黒
をおどして六十兩取つたこ
とがある』
佐『よくそれをぬしは知つ
てゐるな』
藤『知つてゐるとも俺は一
緒に行つた』
佐『夫ではぬしも盗人だ』
藤『馬鹿な事を云ひなさん
な俺は臺所で見張をしてゐ
たばかりだそれも彼奴がそ
の寺へ押込みに入るとは思
はねえ、小見川の在の門徒
寺の和尚は俺の伯父さんだ
からそこへ行つて無心して
金を借りるから一緒に駆け
と云ふからそれは本統だと
思つてついでに行つたスルと
寺へ入つた時に此處に見張
をしてゐてくれといふから
臺所にゐた、スルと友藏め
頼冠りをして奥へ踏込んだ
しばらくすると抜刀を掲げ
て出て来て伯父が金を出さ
ねえから大黒と一緒に縛り
つけて金を持つて来たとい
ふんだ、そいつは友藏ひど
いことをするなと云つたが
金を借るにこれが一番手數
がかゝらねえと云つて俺に
十兩くれた』

親分の墓の土もまだかほか
ぬ中に田畑を賣つて金に替
へ旅籠屋の株まで人手に渡
して友藏と二人で下總を立
退くと女の道にかけたこ
とだ、俺は時々彼奴等の所
へ出掛けて行き隙を見て二
人とも叩き斬つてやらうと

うが度々無心に行くといぬし
の身があぶねぞ』
藤『それは俺も心得てゐる
よ友藏の顔色を見てこいつ
はけんのだと見れば役人
に訴へて彼奴を縛らしてし
このまゝに捨置くことは出
来ねえ』

藤『それではおめえも金を
借りて行くか』
佐『不正な金は千兩箱を山
ほど積まれても、嬉しくね
え』
藤『兄貴はきれいな奴だそ
んな事では、一生貧乏する
ぜ』
佐『俺は乞食になるとも曲
つたことは出来ねえ、そこ
でナ親分の金をなぐさめる
爲めにかういふ事にしたら
どうだ』
藤『エツヴァムアア待つて
くれそいつはいけねえ彼奴
を殺しては俺の儲けが無く
なら……』

藤『さういふわけで俺は彼
奴の急所をにぎつてゐるか
ら出掛けては金を借る』
佐『さうか、併しな、親分
はあね御の不始末を見て定
めし怒つてゐるだらう』
藤『それは腹を立つは尤も
だ』
佐『憎い奴はあの友藏、義
理を知らねえ奴だ、どうも
このまゝに捨置くことは出
来ねえ』

藤『それではおめえも金を
借りて行くか』
佐『不正な金は千兩箱を山
ほど積まれても、嬉しくね
え』
藤『兄貴はきれいな奴だそ
んな事では、一生貧乏する
ぜ』
佐『俺は乞食になるとも曲
つたことは出来ねえ、そこ
でナ親分の金をなぐさめる
爲めにかういふ事にしたら
どうだ』
藤『エツヴァムアア待つて
くれそいつはいけねえ彼奴
を殺しては俺の儲けが無く
なら……』

斯界の權威!!!

大塚の靴

自生編上靴 六圓
學生靴 女學生半靴 五圓

紳士靴 弊店自慢の
流行新形

平田町
大塚製靴部
電話七七番

淋病 皮膚病 婦人病 胃性

松村

腸胃病 十二指腸 腸虫

院醫科 勝病 町南平

〇七一話電

イヤ！君！
いゝ冬服を求めたね
断然三三年型だよ
いやコレカネ！
例の……「ソレ」

正札堂

六三四電通場車停目丁四平

咽喉科専門

應需院

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

旭硝子株式會社製品
赤菱印

板ガラス

賣販造製

硝子 壺
硝子 食器
其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

舊正月二日
景品付大賣出し

今や物價値上の時弊店は絶対に値上致
しません、従前通りの値段にて大勉強
致します、是非朝早くから御来店の程
御待ちして居ります

星野時計店

平町三丁目平驛前通